

学級活動 公開授業・授業研究会

授業者 前橋市立第五中学校 佐々木 研 教諭
平成25年10月25日(金) 第3学年



学級活動(1)「学級や学校の生活づくり」において、各自が意見を出し合い、異なる意見にも耳を傾け、折り合いをつけて、集団決定する授業を公開しました！



30名を超える参加者によって、授業参観後の研究会で熱心な協議が行われました。

【題材】「学級全員で卒業まで充実した生活を送るための取組を決めよう」

【本時のねらい】

卒業へ向けて学級全員で策定した卒業スローガンを基に、よりよい学級について話し合うことを通して、学級全員で卒業まで充実した生活を送るための取組を決める。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・学級活動委員による自治的な話し合いや意見をまとめる話し合いの進め方についての理解
- ・他の意見を尊重しながら、折衷案や合体案となる新たな意見を発表する力



授業の様子

1. 学級活動委員の紹介 ※輪番制



司会グループ（司会・ノート・計時・板書）

2. 提案理由の確認

【スローガン】

メリハリつけて楽しくしっかり
目指せ合格 団体戦で打ち勝とう



残りの3年生の生活を充実させるために、みんなで決めたスローガンに基づいた具体的な取組を決める

3. 話し合い活動

① 出し合う場面



事前にみんなから出された意見は授業前に、私たちが板書しておきました。

事前に出された4つの案を基に話し合いました
※「つくる活動」「やる活動」に分類

【学習面】

- ・勉強に関する掲示物を増やす（つくる活動）
- ・わからない問題を相談し合う（やる活動）

【生活面】

- ・卒業カウントダウンカレンダーをつくる（つくる活動）
- ・学級行事を行う（やる活動）



出された意見に対して何か意見はありますか？

受検前になると、掲示物に合格とあるとプレッシャーになると思います。



【出された意見の一部】

- ・公式などを掲示するといいい。
- ・勉強の得意な人に聞きに行くといいい。
- ・一人一人コメント付きで、絵も入れよう。
- ・中で遊ぶものと外で遊ぶものを分けよう。

② 比べ合う場面



4つの意見の中から優先順位を決める場面

2分間近くの人と話し合ってください。



どの活動から始めたらいいいのかな？



授業の様子

先生の助言



学級全体への助言

必ず実行するために、どこから手をつけていいか意見を出してください。

「つくる活動」と「やる活動」を分けて考えてみたら・・・



司会への助言

③決める場面



みんなでやらないと楽しくなくなってしまいます。

実践へ向けた係分担を決めた。

ノート係のまとめ



4. 先生の話

「やる活動」は日直と教科係、カレンダーは、代表の4人が中心となり、決まったことを全員で必ず実践しましょう。

最後に、話し合いをまとめてくれた学級活動委員と一生涯懸命発表してくれた生徒を労った。

【授業研究会での意見】

<よかった点>

- 意見を出そうと意欲的に取り組んでいる生徒が多かった。
- 教室の学級活動コーナーに事前に話し合いについて伝えてあるのがよい。
- 友だちの意見を比較・検討していた。
- 様々な意見交換をする中で自然に練り上げられ、折り合いをつけることができた。
- 明確な理由をもった発言、ルールづくり、共感的な人間関係等、日常の指導が確立されていた。

<改善点>

- 意見準備シートを子どもの思考の深まりが見えるものにするとうい。
- 話し合うべき視点が見過されてしまった点もあった。生徒が視点を意識した学活をスタンダード化していけるとよい。



【参加者の感想】

- 司会、板書のさせ方、事前指導の大切さ、輪番制による司会グループ等、学活をこんな風にすれば生徒が変わると思った。
- 日頃の教師と生徒、生徒同士の人間関係づくりが大切だとつくづく感じた。特に、他の生徒の意見に対して、否定的にとらえず、よりよいものになるように考えてあげている姿に感心した。
- 比べ合う時間をいかに確保するかが重要で、そのために、事前の活動を充実させ、時間をつくる必要があるとわかった。

【生徒の感想】

- 学級活動では、クラスみんなが意見を出し合い、今後の活動の見通しが立てられて良かった。みんなで協力して必ず実行したいです。また話し合い活動を行うときに生かしていきたいです。

【授業者の感想】

- 学級活動委員は出席番号順の輪番制を採用してきました。また、多数決ではない集団決定にもこだわってきました。今までの取組のお陰もあり、今日は生徒の力を発揮することができました。

提案授業について（学級活動）

本時のねらい

卒業へ向けて学級全員で策定した卒業スローガンを基に、よりよい学級について話し合うことを通して、学級全員で卒業まで充実した生活を送るための取組を決める。



伸ばしたい資質・能力	学習活動
関心・意欲・態度 ・学級活動委員から提案された議題に対し、課題意識をもって、話し合いに臨もうとする態度・意欲	・みんなが高まり合えるための学級の具体的な活動を話し合って決める。 ・学級の学習面・生活面をよりよくする話し合い活動を通して、卒業まで全員で取り組める具体的な活動を決める。
思考・判断・(実践) ・理由を明らかにして自分の意見を発表する力 ・他の意見を尊重しながら、折衷案や合体案となる新たな意見を発表する力	
知識・理解 ・学級活動委員による自治的な話し合いや意見をまとめる話し合いの進め方についての理解	

<提案する手立て>

◇よさを認め合い、折り合いをつけて集団決定する工夫

- ・事前に考えさせた意見準備シートを活用し、自他の意見のよさを認め合いながら話し合いができるようにする。
- ・意見の出し合いの後、比較・検討アドバイスシートを活用し、出された意見の比べ合いや折り合いのある話し合いができるようにする。

<協議の視点>

- ① 「伸ばしたい資質・能力」が身についた授業となっていたか？
- ② そのための「手立て」は有効であったか？

学級活動指導案

平成25年10月25日(金曜日)第5校時(13:35~14:25)3年5組教室 指導者 佐々木 研

1 題材 「学級全員で卒業まで充実した生活を送るための取組を決めよう」(第3学年)

2 考察

(1) 題材観

①学習内容<学習指導要領上の位置付け>

- ・(1)学級や学校の生活づくり ア「学級や学校における生活上の諸問題の解決」
- ・卒業までの学校生活の充実に向けて、想定される諸問題の解決を図る取組についての話し合い活動の実践

②主な伸ばしたい資質・能力

- ・学級活動委員による自治的な話し合いの進め方についての理解
- ・学級活動委員から提案された議題に対し、課題意識をもって話し合いに臨もうとする態度・意欲
- ・課題に基づいた自分の意見を明確に発表する力
- ・他の意見を尊重しながら、折衷案や合体案となる新たな意見を発表する力

③そのために必要な指導・活動

- ・学級活動委員への事前指導、具体的な役割分担、リハーサルを行う。
- ・学級の課題に対し、事前アンケートをとり、意見の出し合いをあらかじめ済ませておく。
- ・一人一人自分の考えをまとめ、提案理由に沿った発表ができるよう意見準備シートを用意する。
- ・出された意見を比べやすくするための視点を示し、折り合いをつけた集団決定になるように配慮する。

④今後の活動予定

- ・スローガンを意識した取組の振り返り
- ・卒業、進路実現に向けた個人及び集団に対しての取組の確認

(2) 生徒の実態及び指導方針 (男子15名 女子18名 計33名)

①これまでの話し合い活動の議題例

- ・「理想的な学級の姿について話し合い、級訓を考えよう」
- ・「修学旅行の約束を決めよう」
- ・「体育大会を成功させるために何をすべきか考えよう」
- ・「あすなろ祭を成功させるために何をすべきか考えよう」
- ・「充実した学校生活を送り卒業を迎えるためのスローガンを決めよう」 等

②話し合い活動における生徒の実態

- ・輪番制を取り入れ、学級全員に学級活動委員の経験を積ませる中で、進んで発言をしようとする生徒が増えた。
- ・学級活動委員が議題の選定及び提案を行うことで、切実感をもって学年や学級の問題点について振り返り、気づける生徒が増えた。
- ・集団決定の場では、話題に無関心になったり、人任せな態度になったりとやや集中力を欠いてしまう生徒もいた。

③話し合い活動における指導方針

- ・他の意見との違いやよさを根拠に意見を述べ合わせることで、意見の分類や統合の視点がもてるようにする。
- ・教師が意見準備シートの内容を把握しておき、個別に助言ができるようにしておくことで、1単位時間内で、1回は意志表示したり、発言したりするなど話し合いに参加する姿勢を身に付け

られるようにする。

- ・学級で決めたスローガン、目標（級訓）に照らしながら、生徒に判断させることを大切にする。

④本題材に関わる実態

生徒たちは、中学校最後の生活を有意義に過ごすために、学校生活や学校行事を通して級友と育んだ団結力を生かし、様々な問題や受験を乗り越えていこうとしている。年度当初の様子からは、旧学級や同地区の友達、部活動の仲間などで形成されるグループに分かれていた。そのため、席替えで接点を持たない同士が隣接した場合、会話が弾まず顔色が曇ることもあった。現在は、様々な行事を通し交流を深めることで、生徒からは「5組が学年で一番団結している」、「卒業で離れたくない」といった声も聞こえるようになった。

学期始めや学級で発生した諸問題、修学旅行などの学校行事の前に行った話合い活動では、目標や約束事、スローガンなどの策定を行い、目標達成に向けて生活を送ってきた。本時でも事前に策定した卒業に向けてスローガンに沿った具体的な取組を考える話合い活動を通して、学級全員の学級への思いが具現化されるような取組や培った団結力が発揮できるような取組について意見を交換する。全員の総意で決定した取組を通じて、卒業まで互いに高め合える学級を目指していきたい。

3 指導の過程（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評 価 規 準	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	卒業までに充実した学校生活を送る中での生活上の問題に関心をもち、積極的に話合い活動に参加するとともに、意欲的に改善に向けて取り組もうとしている。		
	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	充実した学校生活を送るために課題について話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。		
	集団活動や生活に についての知識・理解	充実した学校生活を送ることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話合い活動の計画的な進め方などについて理解している。		
時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		知識・理解	思考・判断・実践	
事前 の 活 動	課題の 発見 議題の 選定 問題の 意識化	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートに個人的なことだけではなく学級全員の問題について提案することの理解【全員】 ・本時の計画的な進め方についての理解【学級活動委員】 ・議題と提案理由の理解【全員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案された議題が全員が話し合う必要のあるものかどうか見抜く力【学級活動委員】 ・卒業に向けた自身の思いや他の意見を尊重し合いまとめる力【全員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・議題に関するアンケートの作成。【学級活動委員】 ・提案された議題を整理し、選定する。【学級活動委員】 ・活動計画を作成する。【学級活動委員】 ・意見準備シートに自身の意見をまとめる。【全員】

本時の活動	出し合う	・学級課題について解決に向けた具体的な取組を決めていくことへの理解	・意見準備シートに自分の意見をクラスの前で発表する力	・意見準備シートに書いた意見の発表をするとともに、話し合い活動の中で熟考する。
	比べ合う	・提案理由やめあてに沿った意見を述べることについての理解	・他の意見のよさに着目して意見を述べる力	
事後の活動	まとめる	・すぐに多数決で決めることなく、折り合いをつけて決めることが大切であることへの理解	・出された意見のよいところを生かしてまとめる力	・クラスの意見をまとめて集団決定する。
実践		・充実した学級活動を送るための取組についての理解	・充実した学校生活を送るための取組についての実践を認め合う力 ・発生した問題について話し合いで解決する力	・スローガンを意識した取組の振り返り ・進路実現に向けた個人及び集団に対しての取組の確認を行う

4 本時の展開

(1) **ねらい** 卒業へ向けて学級全員で策定した卒業スローガンを基に、よりよい学級について話し合うことを通して、学級全員で卒業まで充実した生活を送るための取組を決める。

(2) **準備** アンケート集計表、意見準備シート、卓上ベル、比較・検討アドバイスシート、マーカー

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◇評価)
1 卒業に向けて策定したスローガンと議題設定の理由を掲示し、本時の話し合いの目的を把握し、見通しを持つ。  学級活動委員が司会をします	5分	○学級活動委員を紹介する時間を取ることで、生徒の自主的な活動への意欲を高める。 ○スローガンと議題設定の理由を確認するとともに、本時のめあてを理解させることで、切実感をもって話し合いに臨む態度を促せるようにする。
めあて「卒業へ向けて策定したスローガンに沿った具体的な取組を考えよう」		
2 学習面・生活面について事前のアンケートの結果から「やる活動」、「つくる活動」を紹介し、それぞれの案を確認する。 意見を出し合います 	15分	○他の意見を受け入れつつ、その意見の利点と欠点に対する補足や改善点を発表し合えるように促す。また、発表者だけでなく、司会者への助言や質問などを認め、効果的な進行と共通理解を図れるようにする。 ○学級活動委員はアンケート内容を集約し、「やる活動」、「つくる活動」に分け、色別に掲示することで意見の発展・統合、比較・検討の円滑化を図れるようにする。
(1) 学習面 ・帰りの会5分集中ドリルを毎日したいな ・日替わり受験対策問題を交代でつくろう (2) 生活面		

<ul style="list-style-type: none"> ・日めくり卒業カレンダーって思い出になる ・5組卒業交換日記をついたら面白い <p>【集団討議】</p>  <p>意見を比べ合います</p> <p>比較・検討アドバイスシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスみんなで継続して取り組める ・男女関係なく取り組める ・卒業までつづけられる ・みんなのところが1つになれる ・今まで培ったクラスの団結力がさらに高まる ・準備するにあたり時間的に実行・作成が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見準備シートを活用し、発言を促すとともに、意見を事前に出しておくことで、意見を比較・検討できる時間を多くとれるようにする。 ○黒板には事前に意見を板書しておき、比べる場面から始められるようにする。 ○比較・検討アドバイスシートを活用することで、意見を比べ合えるようにする。 ○司会は話合いに消極的な生徒からも意見を引き出せるように、指名をする。また、円滑に進まない場合は界限の生徒同士での相談も可とする。 ○自分として、集団として具体的に何ができるか、具体的に考えられるよう助言する。 ○卓上ベルで時間を知らせながら、時間内にめあてを達成できるようにする。
<p>3 めあてにあった具体的な取組を決める。</p> <p>【集団決定】</p>  <p>クラスの取組を決めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部やってみたいけど、学習面と生活面で1つずつにしたらどうかな ・全員で卒業までつづけられるものになりたい 	<p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○司会は、一つの意見に対し他の生徒がどう思うか、賛否を確認しながら集団決定を行うように進行し、意見の統合の場面での負担を軽減できるようにする。 ○意見の発展・統合が困難な場合、教師は状況に応じ学級活動委員に指導・援助を行う。 <p>◇集団決定を行うために意見交換を積極的に行い、意見の発展・統合に参加している。(観察)</p>
<p>4 具体的な取組への準備、ルールづくりについて話し合う。</p>	<p>15分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○司会は決定した「つくる活動」や「やる活動」の取組を確実に実行するために、中心となって準備するリーダーを決める。 ○「いつ」「誰が」「どのような形で作成するのか」役割分担を決め、実現への見通しを立てる。
<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>【振り返り】</p>  <p>実践への意欲を高めます</p> <p>〈現れてほしい生徒の意識〉</p> <p>今日決まったことを卒業までしっかり取り組み、全員で今よりももっと良いクラスにするぞ。</p>	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話合いで決まったことを発表し、学級での共通理解を深める。 ○時間に余裕があった場合は、話合いで決まったことを実践するに当たっての心の構えや目標について考えさせ、ワークシートに記入し発表させる。 ○最後に、話合いについて総括し、教師の願いを伝える。 ○学級活動委員の頑張りを労うために、賞賛の拍手を送る。

5 板書計画 (案)

議題

「クラス全員で卒業まで充実した生活を送るための取組を決めよう」

話し合いのめあて

スローガンに沿った具体的な取組を考える。

話し合うこと

①学習面の取組

帰りの会五分集中ドリル

発言一日一回計画

受験問題にチャレンジコーナー

②生活面の取組

卒業カウントダウンカレンダー

五組交換日記

五組思い出一分間スピーチ

③取組へ向けた準備、ルールづくり

○いつ頃

○誰が

○どのようなレイアウトで作成するか

決まったことの確認

先生の話

学級活動事前アンケート

氏名（ ）

過日のアンケートの結果、次のような取組が提案されました。次回の学級活動で話し合いたい(発展させたい)取組を「やる活動」、「する活動」から、それぞれ1つずつ選びましょう。

学習面の取組

つくる活動	
	勉強に関する掲示物を増やす
	勉強をたくさんやった人を表彰する
	目標を達成したらシールをはるものをつくる(頑張りましたカード)
やる活動	
	わからない問題を相談し合う
	日直が一日一問、問題を出す→みんなで答える
	昼休みに勉強会
	補習をする

生活面の取組

つくる活動	
	交換ノート
	クラスメイトにメッセージを書き、掲示する
	カウントダウンカレンダー(卒業&入試)
	ひたすらツルを折る
やる活動	
	昼休みにみんなで遊ぶ(週一 or 月一)
	行事以外の仕事にも全力で取り組む
	行事をつくる(ドッチボール大会)
	ライフで相手を褒め、紹介する

注意のポイント

- ・クラスみんなで継続して取り組めるか。
- ・男女関係なく取り組めるか。
- ・卒業までつづけられるか。
- ・みんなのところが1つになれるか。
- ・今まで培ったクラスの団結力がさらに高まるか。

学級活動意見準備シート

氏名（ ）

過日のアンケートの結果から様々な取組が提案されました。自分の意見を加えてよりよい取組に発展させ、本番の発表に備えよう。

問1 入試は全員に関わること。したがって、学習面においてクラスで何ができるか考えて欲しいと思います。具体的に「つくる活動」と「やる活動」をそれぞれあげてみましょう。

つくる活動	やる活動
<ul style="list-style-type: none">勉強に関する掲示物を増やす勉強をたくさんやった人を表彰する目標を達成したらシールをはるものをつくる (頑張りましたカード)	<ul style="list-style-type: none">自主勉強を提出する決まりをつくるわからない問題を相談し合う補修をするお帰りドリルを黙々とやる昼休みに勉強会日直が一日一問、問題を出す→みんなで答える

問2 クラスのみんなで心が一つになるようなことはできないか。具体的に「つくる活動」と「やる活動」をそれぞれ考えよう

つくる活動	やる活動
<ul style="list-style-type: none">調理実習メッセージアート思い出アルバムをつくるタイムカプセルクラスメイトにメッセージを書き、掲示するカウントダウンカレンダー(卒業&入試)交換ノートひたすらツルを折る	<ul style="list-style-type: none">昼休みにみんなで遊ぶ(週一 or 月一)行事以外の仕事にも全力で取り組むライフで相手を褒め、紹介する行事をつくる(ドッチボール大会)

注意のポイント

- ・クラスみんなで継続して取り組めるか。
- ・男女関係なく取り組めるか。
- ・卒業までつづけられるか。
- ・みんなのところが1つになれるか。
- ・今まで培ったクラスの団結力がさらに高まるか。

「生徒の発言」分類シート

※活用の仕方：授業中の生徒の発言を聞いたり、態度・表情を見たりしながら、下記のシートにチェックをし、良い点、改善点等について授業研究会で検証する。

◇効果的な進行

発言内容	チェック
賛成意見を言っている	
反対意見を言っている	
質問をしている	
視覚的に工夫している	
司会・進行を助けている	
代わりに説明している	
他の意見を補足している	
問題点を指摘している	
似た意見を整理している	
反対への解決策を示している	
安易な決定をさけている	

◇理解し合う努力

発言内容	チェック
相手の理由を確認している	
相手の考えに共感しつつ、疑問点を正している	
他の考えを価値付けている	
改めて説明し直している	
自らの意見に一部問題点（心配）のあることを伝えている	

◇折り合いの工夫

発言内容	チェック
意見のよさを合わせている	
自分の考えを変え、異なる意見に共感している	
条件を付けて賛成している	
総意を気持ちよく受け入れている	

《 話し合いのススメ 》

1 これから学級会をはじめます。 (号令)

2 今日の司会グループを紹介します。

司会の () と () です。記録係の () と () です。ノート記録係の () です。よろしくお願いします。

3 本日の議題は「 _____ 」です。

4 議題の理由を (_____) さんから説明をお願いします。

5 今日、話し合うことは「 _____ 」です。話し合いが充実するようご協力をお願いいたします。

6 それでは、話し合いに入ります。議題について何か意見のある人はありますか？

- ・ 今、出ている意見に何か質問はありますか？
- ・ 賛成意見、または反対意見はありますか？
- ・ そろそろ みなさんの意見をまとめたいと思います。どのように統合しますか？ 意見のある方はいますか？

7 今日の話合いで決まったことをノート記録係の (_____) さんが発表します。

8 今日決まったことをふまえて、個人の感想や目標を書き込みましょう

9 個人の感想や目標の発表

10 先生のお話です。お願いします。

11 これで学級会を終わりにします。 (号令)



《 司会へのアドバイス 》



① 話し合いが議題からそれないように・・・

「今から、・・・について話し合います」

「・・・の順序で話し合っていきます」

「話し合いが議題からそれてしまっています。○○○についてご意見をお願いします。」

② 何が問題か、どこまで進んだかを、いつもはっきりさせて・・・

「みんなの意見は・・・ということですね。」

「○○○という意見と△△△という意見に分かれています。」

「○○○は決まったので、△△△について意見をお願いします。」

③ いつも同じ人を当てないで・・・

※ いろんな人から意見を出してもらえるように心がけましょう。

「まだ意見を言っていない人の考えを教えてください。」

④ 話し合いが止まったら・・・

「少し時間を取りたいと思います。となりの人と○分間、相談してください。」

⑤ 意見をまとめるためには・・・

「賛成意見が多いので・・・でよろしいでしょうか？」

「反対意見が多いので・・・でよろしいでしょうか？」

※ いつも多数決にせず、話し合いながら意見を統合させることが重要ですが…

「どうしてもまとまりません。多数決でもよろしいでしょうか？」

⑥ 話し合いの途中で時間がきてしまったら・・・

「時間がきてしまいました。どうしたらよろしいでしょうか。」

【選択肢】

1. 次の学活でもう一度話し合う。
2. 帰りの会 または 朝の会で話し合う。
3. 学級活動委員に一任する。
4. 多数決で決める。

